

産業構造審議会保安分科会電力安全小委員会（第16回）－議事要旨

日時：平成30年3月12日（月）15：15～17：15

場所：経済産業省別館1階108会議室

出席者：横山委員長、浅見委員、石田委員、岩本委員、海老塚委員、大久保委員、大山委員、柿本委員、春日委員、首藤委員、勝呂委員、中條委員、中谷委員、弘津委員、福長委員、藤富委員、八代委員、米沢委員

議題：

1. 民間規格等を技術基準に迅速かつ適切に位置づけるための仕組みの在り方
2. 太陽光発電設備に係る技術基準の解釈改正（JIS 関係）
3. 洋上風力発電設備に関する技術基準の統一的解説について
4. 電気保安のスマート化に向けた検討の進捗状況
5. 電気保安人材の中長期的な確保に向けた課題と対応の方向性
6. PCB含有電気工作物処理の進捗状況
7. 平成29年度に発生した災害・事故への対応
8. 平成29年度に行った電気工作物事故情報の整理・分析等に関する取組について
9. 風力発電所の環境影響評価審査の合理化
10. 平成29年度に措置した規制見直し

議事概要：

【審議事項】

1. 民間規格等を技術基準に迅速かつ適切に位置づけるための仕組みの在り方
 - 事務局から資料1に基づき説明、その後質疑。
 - 検討の方向性について了承。
 - その他、委員からの主な意見
 - ・国が評価機関の確認を行うとあるが、それは能力の確認ということか。その評価のプロセスはどのようなものになるのか。
 - ・民間規格等を位置づけた後に発生しうる問題の原因や影響の大きさ、その時にどう対応するか等について、具体的に想定していることはあるか。
 - ・民間規格の公開について、どのような形で公開するかは著作者の判断となっているが、一方で、評価機関も意見募集を行い、国もパブリックコメントを実施することになっている。著作者が有料での公開を希望する場合、意見募集やパブリックコメントは、どのような形で行われるのか。

2. 太陽光発電設備に係る技術基準の解釈改正（JIS 関係）

○事務局から資料2に基づき説明、その後質疑。

○検討の方向性について了承。

○その他、委員からの主な意見

・太陽光発電を安定した電源として確保するための施策として、内容はよいと思うが、スケジュールはどうなっているか。導入までに十分な時間が必要ではないか。

3. 洋上風力発電設備に関する技術基準の統一的解説について

○事務局から資料3に基づき説明、その後質疑。

○検討の方向性について了承。スケジュールに沿って進めていくことで同意。

○委員からの主な意見

・スムーズに審査が運ぶというのは結構だが、安全性の確保が重要。どのようにして安全性を担保していくのか。

【報告事項】

4. 電気保安のスマート化に向けた検討の進捗状況

5. 電気保安人材の中長期的な確保に向けた課題と対応の方向性

6. PCB含有電気工作物処理の進捗状況

○事務局から資料4、資料5および資料6に基づき説明、その後質疑。

○委員からの主な意見

・小型風力発電の事故情報分析調査の現状と問題については、資料記載の通りだと思ふ。中小規模の再エネ事業者におけるメンテナンスのノウハウ不足や、メーカーに過度に依存する業界構造が、保安責任徹底の障壁になっているとの指摘もあり、安全性に配慮して進めてほしい。

・サイバーセキュリティが問題化している中、安心・安全を確保しつつ先端的な技術を活用できるように検討を進めてほしい。

・主任技術者の業務量が増加している中、外部委託承認には免状取得から5年の実務経験が必要であり、ギャップが生じている。IoT、AIに期待はしているが、当面は保安力維持の為に人材を育成することが大切である。実務経験が乏しい人材を採用・育成できるようなインセティブを保安の観点からも検討し、対策を取ってもらいたい。技術者＝コストとしてとらえられ、産業の魅力低下につながっている。技術者のすそ野を広げることや、技術の継承など、中長期的な課題解決の為に官民挙げて取り組んでほしい。

7. 平成 29 年度に発生した災害・事故への対応

8. 平成 29 年度に行った電気工作物事故情報の整理・分析等に関する取組について

○事務局から資料 7 に基づき、N I T E から資料 8 に基づき説明、その後質疑。

○委員からの主な意見

・関電事故について、再発防止策が「間違った取り付けをしないこと」とのことだが、そもそもそういう設計がなされていないことに驚いた。

・技術的に分かっていなかった原因で起こった事故についてはやむを得ないが、技術的に分かっていたけれど起こってしまった事故については、なぜ防げなかったかを技術的に掘り下げていかなければならない。データベースを作るときや分析するときは、それらを切り分けて検討してほしい。関電の事故については、すでに原因が分かっていた事故ではないか。こういった事故をなぜ未然に防げなかったかを掘り下げてほしい。

9. 風力発電所の環境影響評価審査の合理化

10. 平成 29 年度に措置した規制見直し

○事務局から資料 9 および資料 10 に基づき説明、その後質疑。

○委員からの主な意見

・火力発電設備の溶接安全管理審査の廃止と安全管理検査制度見直しについて、短期間のうちにタイミングよく改正してくれて感謝している。

問い合わせ先：

経済産業省産業保安グループ電力安全課

電話：03-3501-1742

FAX：03-3580-8486